

2025 年 SF 回顧資料（国内 SF 出版リスト）

(提供・香月祥宏氏)

※香月（SF マガジン国内 SF レビュー欄担当）が、原稿執筆の前段階で“取り上げる可能性がある”として編集部に提出したリストが元になっています。

※あくまでも打ち合わせ用です。網羅的・厳密なリストを意図したものではないので、誤字脱字等細かいチェックはしていません。参考としてご覧ください。

※香月が実際に SF マガジンで紹介したものだけでなく、結果的に他の欄（ライトノベル、ファンタジー、ホラーなど）で扱われたもの、誌面では取り上げられなかったもの等も含みます。

※日付はネットで確認できる発売日の場合と奥付の場合があります。

※2025 年の国内 SF を振り返るまでの重要性に基づいて、ざっと記号を振ってみました。必ずしも作品の評価とは直結しません。

★……2025 年国内 SF の重要作

●……★に次ぐ注目作

▲……SF 読者にもおすすめの境界作

1 月	・ 麻根重次『千年のフーダニット』(講談社) 1/16	・ 壱岐津礼『暗夜にぞ輝けり～暗黒星奇譚』(アトリエサー ド) 2/28
	● 小川一水『ツインスター・サイクロン・ランナウェイ 4』 (ハヤカワ文庫 JA) 1/22	・ 公社『旗本改革男』(KADOKAWA) 3/3
	・ 小森陽一『ツイン・アース』(集英社文庫) 1/21	★ 村田沙耶香『世界 99』(集英社) 3/5
	・ 伊坂幸太郎『楽園の楽園』(中央公論新社) 1/22	・ 東雅夫編『怪獣談』(平凡社) 3/7
	・ 上田未来『妻が夫を完全犯罪で殺す方法（あるいはその逆）』(双葉社) 1/22	・はじめアキラ『テンセイゲーム』(竹書房) 3/8
	★ 犬怪寅日子『羊式型人間模擬機』(早川書房) 1/22	・ 井戸川射子『移動そのもの』(筑摩書房) 3/11
	★ カスガ『コミケへの聖歌』(早川書房) 1/22	・ 野島夕照『片翼のイカルス』(光文社) 3/12
	・ 幸村百理男『東大理三の悪魔』(宝島社) 1/28	▲ 葉山透『アイギス』(ボプラ社) 3/12
	▲ 奥泉光『虚傳集』(講談社) 1/30	・ 青柳碧人『オール電化・雨月物語』(PHP 研究所) 3/13
	★ 山本弘『時の果てのフェブラー —赤方偏移世界—』(創元 SF 文庫) 1/31	・ 阿泉来堂『骸ノ時計』(産業編集センター) 3/13
2 月	・ 松下龍之介『一次元の挿し木』(宝島社文庫) 2/5	▲ 三崎亜記『みしらぬ国戦争』(KADOKAWA) 3/17
	▲ 榎本憲男『アガラ』(朝日新聞出版) 2/7	・ 宮澤伊織『裏世界ピクニック 10 あり得るすべての怪談』 (ハヤカワ文庫 JA) 3/19
	▲ 南海遊『パンドラブレイン 亜魂島殺人（格）事件』(星海 社) 2/18	▲ 二礼樹『リストランテ・ヴァンピーリ』(新潮社) 3/19
	★ カリベュウキ『マイ・ゴーストリー・フレンド』(早川書 房) 2/19	★ 人間六度『烙印の名はヒト』(早川書房) 3/19
	★ 神林長平『インサイト 戰闘妖精・雪風』(早川書房) 2/19	★ 赤野工作『遊戯と臨界 赤野工作ゲーム SF 化作選』(創元 日本 SF 叢書) 3/21
	・ 斎藤詠一『俺が恋した千年少女』(双葉社) 2/19	・ 千街晶之編『Wi-Fi 幽霊 乙一・山白朝子 ホラー傑作選』 (角川ホラー文庫) 3/22
	▲ 松城明『探偵機械エキシマ』(KADOKAWA) 2/21	・ 柴田勝家『秘曲金色姫』(中央公論新社) 3/24
	・ 平岡陽明『マイ・グレート・ファーザー』(文藝春秋) 2/21	▲ 鈴木光司『ユビキタス』(KADOKAWA) 3/26
	・ 須藤アンナ『グッナイ・ナタリー・クローバー』(集英社) 2/26	・ 春海水亭『入居者全滅事故物件』(KADOKAWA) 3/28
	▲ 荻原浩『我らが緑の大地』(KADOKAWA) 2/27	・ 豊庭淵『対怪異アンドロイド開発研究室 2.0』 (KADOKAWA) 3/28
3 月	★ 林譲治『惑星カザンの桜』(創元 SF 文庫) 2/28	・ 須藤古都離『ゾンビがいた季節』(講談社) 4/16
	★ 『星に届ける物語 日経「星新一賞」受賞作品集』(新潮文 庫) 2/28	★ 天沢時生『すべての原付の光』(早川書房) 4/23
		★ 上田早夕里『成層圏の墓標』(光文社) 4/23
4 月		

	<ul style="list-style-type: none"> ●『SF ごはんアンソロジー すばらしき新式食』(集英社オレンジ文庫) 4/17 ・金子薫『愛の獣は光の海で溺れ死ぬ』(河出書房新社) 4/17 ・乙野四方字『リライト〔映画ノベライズ〕』(ハヤカワ文庫JA) 4/23 ・福田和代『ヴァンパイア・シュテン』(光文社) 4/23 ●冲方丁『ムーンライズ1~3』(TO文庫) 4/25 ★森下仁『エルギスキへの旅』(ブターラー書房) 4/25 ・下村智恵理『天網恢々アルケミー 前崎中央高校科学部の事件ファイル』(創元推理文庫) 4/28 ・中原昌也『焼死体たちの革命の夜』(河出書房新社) 4/30
	<ul style="list-style-type: none"> ▲藍銅ツバメ『馬鹿化かし』(集英社) 5/9 ・最果タヒ『恋の収穫期』(小学館) 5/14 ・万城目学『あの子とO』(新潮社) 5/15 ・『小説集 筋肉少女帯小説化計画』(KADOKAWA) 5/16 ・最果タヒ『恋の収穫期』(小学館) 5/19 ・夢枕獏『キマイラ聖獣変』(ソノラマノベルス) 5/20 ▲実石沙枝子『扇谷家の不思議な家じまい』(双葉社) 5/21 ・冲方丁『マルドゥック・アノニマス10』(ハヤカワ文庫JA) 5/22 ・小塙原旬『心臓』(早川書房) 5/22
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・柘植由紀美『街と相良さんの四季』(鳥影社) 5/23 ・藤原雅人『盗まれる指先』(東奥日報社) 5/23 ●海猫沢めろん『ディスクロニアの鳩時計』(泡影社) 5/27 ・浅倉卓弥『桜待つ、あの本屋で』(ハーパーコリンズ・ジャパン) 5/28 ・五条紀夫『町内会死者蘇生事件』(新潮文庫) 5/28 ・あさのあつこ『NO.6 再会#1』(講談社) 5/28 ・海野十三『地球盜難』(春陽文庫) 5/28
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ▲十三不塔『13 十三不塔作品集』(anon press) 5/28 ★円城塔『去年、本能寺で』(新潮社) 5/29 ・阿部智里『皇后の碧』(新潮社) 5/29 ▲木内昇『奇のくに風土記』(実業之日本社) 5/29 ●新馬場新『歌はそこに遺された』(徳間書店) 5/31 ・佐川恭一『人間的教育』(太田出版) 6/3 ●法条遙『ノンブル・シャッフル』(ハヤカワ文庫JA) 6/5
	<ul style="list-style-type: none"> ・石井遊佳『ティータイム』(集英社) 6/5 ・堂場瞬一『ポピュリズム』(集英社) 6/5 ・青海野灰『君がいた夏、僕だけのヒーロー』(実業之日本社文庫) 6/6 ・山上たつひこ『金鳳花のフール』(フリースタイル) 6/10 ・明里桜良『ひらりと天狗 一神棲まう里の物語』(新潮社) 6/18 ●新名智『靈感インテグレーション』(新潮社) 6/18 ★高野史緒『アンスピリチュアル』(早川書房) 6/25 ・藤谷治『エリック・サティの小劇場』(光文社) 6/25 ・緒乃ワサビ『記憶の鍵盤』(新潮文庫nex) 6/25 ▲中西智佐乃『橋の家』(新潮社) 6/26 ・上田岳弘『関係のないこと』(新潮社) 6/26 ●柴崎友香『帰れない探偵』(講談社) 6/26 ●中野伶理『那由多の面』(ゲンロンSF文庫) 6/27 ●大庭蘭『うたたねのように光って思い出は指先だけが覚えてる熱』(ゲンロンSF文庫) 6/27 ▲高田漣『街の彼方の空遠く』(河出書房新社) 6/27 ★灰谷魚『レモネードに彗星』(KADOKAWA) 7/1 ・安達寛高編『沈みかけの船より、愛をこめて』(朝日文庫) 7/7 ・喜多喜久『全能のカミナ』(パーパーBOOKS+) 7/15 ●宮澤伊織『ウは宇宙ヤバイのウ!2 天の光はすべて詐欺』(ハヤカワ文庫JA) 7/16 ・荒山徹『更科忍法帖』(早川書房) 7/16 ・日比野コレコ『たえまない光の足し算』(文藝春秋) 7/17 ▲彩藤アザミ『正しい世界の壊しかた—最果ての果ての殺人—』(新潮社) 7/22 ▲東山彰良『三毒狩り(上・下)』(毎日新聞出版) 7/22 ・後谷伊隆『友達がタイムマシンを作ったので』(KADOKAWA) 7/24 ・小池昌代『Cloud on the 空き家』(講談社) 7/24 ・浜口倫太郎『天空遊園地まほろば』(ポプラ社) 7/24 ・駒田隼也『鳥の夢の場合』(講談社) 7/24 ・櫻一志『レゾンデートルの結び』(メディアワークス文庫) 7/25 ●伊与原新『翠雨の人』(新潮社) 7/30 ●荒巻義雄『聖シスコ電説』(小鳥遊書房) 7/31

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・多末宿紅葉『少女、落下中』(主婦と生活社) 8/1 ・恩田陸『酒亭 DARKNESS』(文藝春秋) 8/7 ・三浦晴海『なぜ「あしか汁」のことを話してはいけないのか』(宝島社) 8/7 ・藤崎翔『冥土レンタルサービス』(祥伝社文庫) 8/8 ・蒼月海里『星空都市リンネの旅路』(マイナビ出版) 8/20 ▲岡崎琢磨『HIPS 機械仕掛けの箱舟』(光文社) 8/20 ・新馬場新『部屋には葦が生えている』(双葉社) 8/20 ・新川帆立『魔法律学校の麗人執事1 ウェルカム・トゥー・マジックローアカデミー』(幻冬舎) 8/20 ★笛原千波『風になるにはまだ』(創元日本 SF叢書) 8/21 ・灯野リュウ『渋谷神域』(KADOKAWA) 8/21 ●河野裕『さよならの言い方なんて知らない。10』(新潮文庫nex) 8/28 ●『鏡の国の生き物をつくる SFで踏み出す鏡像生命学の世界』8/31 (Kaguya Books)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・あさのあつこ『NO.6 再会#2』(講談社) 9/3 ●「幻想と怪奇」編集室編『幻想と怪奇 幻影の街 ショートショート・カーニヴァル』(新紀元社) 9/5 ・夢枕漠『陰態の家 夢枕漠超越的物語集』(文藝春秋) 9/10 ・彩藤アザミ『読むと死ぬ本』(講談社) 9/10 ・阿泉来堂『冥船ステラ・ブルー』(産業編集センター) 9/16 ★日本SF作家クラブ編『恐怖とSF』(ハヤカワ文庫JA) 9/18 ★伴名練『百年文通』(早川書房) 9/18 ▲彩瀬まる『みちゆくひと』(講談社) 9/26 ▲谷崎由依『百日と無限の夜』(集英社) 9/26 ・雪舟えま『凍土二人行黒スープ付き [増補改訂版]』(創元文芸文庫) 9/27 ・石川博品『アフリカン・ヴードゥー・ジュージュツ』(KADOKAWA) 9/29
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・夕鷺かのう『スイッチ・ライフ』(朝日新聞出版) 10/7 ・綾崎隼『雨のやまない世界で君は』(朝日新聞出版) 10/7 ●岩井圭也『真珠配列』(早川書房) 10/8 ●乾緑郎『私たちに残されたわずかな永遠』(祥伝社) 10/10 ▲高田大介『図書館の魔女 霆ける塔』(講談社) 10/16 ★小川哲『火星の女王』(早川書房) 10/22 ▲伊坂幸太郎『さよならジャバウォック』(双葉社) 10/22 ▲呉勝浩『アトミック・ブレイバー』(光文社) 10/22 ●恒川光太郎『ジャガー・ワールド』(講談社) 10/22
	<ul style="list-style-type: none"> ・池谷和浩『四季と機器』(よはく舎) 10/27
	<ul style="list-style-type: none"> ●市川憂人『もつれ星は最果ての夢を見る』(PHP研究所) 10/28
	<ul style="list-style-type: none"> ・山田彩人『千年ゲーム』(南雲堂) 10/29
	<ul style="list-style-type: none"> ・いしいしんじ『チェロ湖』(新潮社) 10/30
	<ul style="list-style-type: none"> ★宮澤伊織『ときときチャンネル ない天気1つくってみた』(創元日本 SF叢書) 10/31
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●一穂ミチ『きょうの日はさようなら 完全版』(文春文庫) 11/5
	<ul style="list-style-type: none"> ・ISHIYA『BRUO / ノイズ』(blueprint) 11/5
	<ul style="list-style-type: none"> ●吉田親司『第二警察』(ハヤカワ文庫JA) 11/19
	<ul style="list-style-type: none"> ●山本弘『輝きの七日間』(河出文庫) 11/6
	<ul style="list-style-type: none"> ・高野和明『犯人と二人きり』(文藝春秋) 11/12
	<ul style="list-style-type: none"> ・風森章羽『あの日、僕たちが死んだ理由』(講談社) 11/12
	<ul style="list-style-type: none"> ▲村崎なつ生『ハルシネーションの庭』(集英社オレンジ文庫) 11/19
	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野晶『侍タイムスリッパー』(KADOKAWA) 11/20
	<ul style="list-style-type: none"> ▲飯野文彦『眼球の見る夢と現と』(SF ユースティティア) 11/22
	<ul style="list-style-type: none"> ★西島伝法『無常商店街』(創元日本 SF叢書) 11/28
	<ul style="list-style-type: none"> ・伊福部崇『タイム アフター レコーディング』(KADOKAWA) 11/29
12月	<ul style="list-style-type: none"> ★関元聰『攝氏千度、五万気圧』(早川書房) 12/3
	<ul style="list-style-type: none"> ●辻村七子『博士とマリア』(ハヤカワ文庫JA) 12/3
	<ul style="list-style-type: none"> ・五条紀夫『流血マルチバース』(双葉文庫) 12/10
	<ul style="list-style-type: none"> ▲佐々木譲『分裂蜂起』(集英社) 12/15
	<ul style="list-style-type: none"> ・暁社夕帆『ゾア』(講談社) 12/17
	<ul style="list-style-type: none"> ●樋口恭介『何もかも理想とかけ離れていた』(双葉社) 12/17
	<ul style="list-style-type: none"> ・蒼月海里『百槍のオラシオン』(KADOKAWA) 12/24
	<ul style="list-style-type: none"> ★斧田小夜『では人類、ごきげんよう』(創元日本 SF叢書) 12/25
	<ul style="list-style-type: none"> ・山田幸彦『龍が泳ぐは星の海』(ポーンデジタル) 12/26